

# 特別支援自閉症・情緒障害特別支援学級「算数科」学習指導案

〈ベーシック授業〉

令和3年11月10日 第5校時 なかよし1組教室

## 1 単元名「長方形と正方形」「面積のはかり方と表し方」「およその面積と体積」

### 2 単元設定の理由

#### (1) 学級及び児童の実態

本学級は、男子4名、女子2名による自閉症・情緒障害特別支援学級である。本学級の児童は、国語と算数を中心に支援学級で、その他を交流学級で学習している。支援学級で行っている算数は、6名それぞれ理解力に差があるため、本来は1対1の指導が望ましいが、交流の時間がないときなど大人数の場合には、学年ごとのグループ課題で学習を進めている。また、状況によっては学年を超えて話し合うこともある。

#### (2) 単元について

本単元は、2学年「長方形と正方形」、4学年「面積のはかり方と表し方」、6学年「およその面積と体積」に関する単元の学習である。本単元は、身の回りにある色々な形を使い、見つけたり書いたり調べたりして個別学習から集団学習へ展開することで、自力解決が困難な児童でも関わり合いをもちやすく、課題に迫ることができると考えた。

さらに、図形に関する単元にそろえたことで、学習の系統性に関して、学年を超えた見通しをもつことができる。下の学年の児童は、今後自分が学習する内容を知ったり、今後の学習に対して意欲をもったりすることができると考えた。また、上の学年の児童は過去に学んだ学習内容を振り返ることができ、既習学習をより定着化させることにつながると考えた。

#### (3) 指導・支援について

個別指導については、異学年・異年齢集団による異なる学習活動で教師1人が指導するため、円滑に行えるよう次のようなことを意識して取り組んできた。

①黒板を3学年ごとに分割し、学年順に進める学習の流れを習慣化する。②自分たちで学習していくという意識をもたせるために、児童間で関わり合いを多くもたせるようにする。③問題意識をもって取り組めるように、これまでとの違いは何なのか、その都度確認する。

そうすることで、少しでも指示を待つだけでなく、時間差があっても主体的に取り組めるようにしていきたい。

支援については、主に次の3つに重点を置いて取り組んでいる。①算数の用語がたくさん登場し、混乱することが予想されるため、算数の時間だけでなく、日常生活の中で繰り返し用語を使うように心がける。②ノートや掲示物も、書くだけ、貼っただけで終わることのないように、困ったときに活用できる良さを伝える。③図形の形を正しく認識する力が弱い児童もいるため、具体物を操作する活動を多く取り入れて図形に関する用語や意味を、実感をもって理解できるようにする。学習した内容を日常生活の中で実際に活用したりすることができるようにしたり、実際に使おうとしたりする意識を育てることにつなげていきたい。

#### (4) 研究の重点活動と単元の指導について

##### ①研究の方針に係る具体的位置づけ

#### [A 学び合いと知識技能の習得習熟への挑戦]

実態としては友達の考えは聞かず、自分の考えだけを発表することにこだわったり、話し合いの際には発言力のある児童が中心となったりという課題があるが、できるかぎり本庄型授業スタンダード(ベーシック授業)を取り入れた学習スタイルにする。学び合う活動では、ホワイトボードやワークシート等を活用し、他の児童と意見を交わして課題を練っていく。

#### [B 課題設定とふりかえりの充実]

児童の意欲や探求心が高まるような課題を設定し、まとめと関連付けていく。また、授業の終末3分で必ず振り返りの時間を設け、自己を見つめる時間をとることで学びの実感を味わわせるとともに次時の学習への意欲に繋げていく。

#### [C ICTの活用]

児童の特性やそれに伴う学びにくさは多様かつ個人差が大きいため、必要に応じて適宜タブレットや大型テレビなどを活用し、児童の問題把握の助けや数学的な見方や考え方を引き出す補助教材とした。

### 3 児童の実態及び目標

#### (1) 児童の単元に関わる実態及び個人目標

	単元にかかわる実態	個人目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算が得意で意欲的に取り組むが、急ぐ傾向があり、簡単な間違いをしてしまうことがある。</li> <li>・友だちと相談したり質問し合ったりして課題解決に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慌てず落ち着いて課題に取り組むことができる。</li> <li>・図形を構成する要素に着目し、その特徴を見だし、説明することができる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で課題に向き合う場面では、他のことに気を取られがちだが、グループで話し合うときには、積極的に意見を言うことができる。</li> <li>・文字や線など、算数に限らず書くことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもとに、話し合いに参加することができる。</li> <li>・ワークシートを活用して、必要なことを書くことができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数に対して、苦手意識があるが、グループでの活動には意欲的である。</li> <li>・具体物を使った操作活動を通して、課題解決に迫ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に操作活動をし、図形の特徴を理解することができる。</li> <li>・分からないことや困ったことがある掲示コーナーを活用して、課題を解決することができる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を求める公式に当てはめて答えを求めることができる。</li> <li>・計算は得意な方だが、図形や数量関係がイメージできないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなやり方で面積を計算で求めることができる。</li> <li>・面積の単位を知り、面積の意味について理解することができる。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を使った操作活動では、意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・計算は苦手だが、話し合い活動では積極的に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を手がかりにして、面積を求めることができる。</li> <li>・友達と一緒に話し合いながら、面積の求め方を理解することができる。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定規を使って図形の長さを求めることはできるが、図形をかくことが苦手である。角や線が曲がってしまっても気にしないで進めてしまう傾向がある。</li> <li>・簡単な図形であれば面積を求めることはできるが、気分ムラがあり、集中力が続かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるものの形について、既習の基本図形をもとに面積を求めることができる。</li> <li>・最後まで集中して課題に取り組むことができる。</li> </ul>

### 4 主な指導計画 (◎は本時)

#### 第2学年(全10時間)

	○主な学習活動 課題: ㉠ まとめ: ㉡	学習内容	主な評価規準
1 2	○辺や頂点の数に着目して図形を分類する活動を通して、三角形、四角形の意味や性質を理解する。 ㉠さんかくやしかくの形のとくちょうをしらべよう。 ㉡3本の直線でかこまれた形を三角形という。 4本の直線でかこまれた形を四角形という。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線とかどの数に着目して図形の弁別の仕方を考える</li> <li>・用語「三角形」「四角形」「辺」「頂点」</li> </ul>	[態] 図形の辺や頂点の数に着目して、図形を分類しようとしている。 【観察・ノート】
3 本 時	◎図形を弁別する活動などを通して、三角形、四角形についての理解を確実にする。 ㉠三角形や四角形を見つけよう。 ㉡へんやちょう点を見れば、見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形、四角形の弁別</li> </ul>	[思・判・表] 三角形や四角形の弁別の仕方を、構成要素などを観点として考え、説明している。 【観察・ノート】
4	○直角の意味を知り、身の回りから直角を見つめることができる。 ㉠かどの形のとくちょうをはっきりさせよう。 ㉡できたかどの形を、直角という。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語「直角」身の回りから直角を見つめる</li> </ul>	[知・技] 直角の意味を知り、紙を折って直角を作ることができる。 【観察・ノート】

5	○長方形を構成要素に着目して見ることを通して、長方形の意味や性質を理解する。 ④長方形のとくちょうをしらべよう。 ⑤4つのかどがみんな直角になっている四角形を長方形という。長方形のむかい合っているへんの長さは同じになっている。	・用語「長方形」直角の数や辺の長さに着目して長方形の特徴をとらえる	[知・技] 長方形は4つのかどが直角になっている四角形で、対辺の長さが等しいことを理解している。 【観察・ノート】
6	○正方形を構成要素に着目して見ることを通して、正方形の意味や性質を理解する。 ④形のとくちょうをはっきりさせよう。 ⑤4つのかどがみんな直角で、4つのへんの長さがみんな同じになっている四角形を正方形という。	・用語「正方形」直角の数や辺の長さに着目して正方形の特徴をとらえる	[知・技] 正方形は4つのかどが直角で、4辺の長さが等しい四角形であることを理解している。 【観察・ノート】
7	○長方形、正方形を対角線で分割してできた三角形を、構成要素に着目して見ることを通して、直角三角形の意味や性質を理解する。 ④形のとくちょうをはっきりさせよう。 ⑤直角のかどがある三角形を直角三角形という。	・用語「直角三角形」直角に着目して直角三角形の特徴をとらえる	[知・技] 直角三角形は1つのかどが直角になっている三角形であることを理解している。 【観察・ノート】
8	○方眼を利用した長方形、正方形、直角三角形のかき方を、方眼の仕組みや図形の性質について考え、作図することができる。 ④方眼紙をつかって、直角のかどがある形をかこう。 ⑤方眼紙のますが正方形になっていることをつかうと、直角のかどがある形がかけられる。	・方眼を活用して、長方形、正方形、直角三角形をかく	[思・判・表] 方眼を利用した長方形、正方形、直角三角形のかき方を、方眼の仕組みや図形の性質に着目して考え、作図している。 【観察・ノート】
9	○単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 ④学習の仕上げをしよう。 ⑤必要な学習内容を確認できる	・学習内容の生活への活用	[態] 学習内容を生活に生かそうとしている。 【観察・ノート】
10	○学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方振り返り価値づける。 ④学習の仕上げをしよう。 ⑤必要な学習内容を確認できる。	・学習内容の習熟・定着	[知・技] 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】

第4学年(全11時間)

	○主な学習活動 課題:④ まとめ:⑤	学習内容	主な評価規準
1	○面積の比べ方を様々な方法で考え、説明できる。 ④広さを数で表す方法を考えよう。 ⑤面積は、1辺が1cmの正方形が何こ分あるかで表すことができる。	・図形を構成する正方形や長方形の数に着目し、面積の比べ方を考える	[思・判・表] 図形を構成する正方形や長方形の数に着目して、面積の比較について考え、説明している。 【観察・ノート】
	○長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解し、面積の求め方を公式にまとめることができる。 ④面積を計算で求める方法を考えよう。 ⑤長方形や正方形の面積を計算で求めるには、 ①となり合った2つの辺の長さをはかる。 ②2つの辺の長さを表す数をかける。	・1cm <sup>2</sup> のますの数に着目し、長方形や正方形の面積を求める公式を考える	[思・判・表] 正方形、長方形の特徴や1cm <sup>2</sup> のますの数に着目して、長方形や正方形の面積を求める公式を考え、説明している。 【観察・ノート】
4	○長方形、正方形の面積を計算で求める方法を理解し、面積の求め方を公式にまとめることがで	・面積の公式の適用	[知・技] 公式を用いて、長方形や

	きる。 ㊦ 面積を計算で求める方法を考えよう。 ㊧ 長方形や正方形の面積を計算で求めるには ①となり合った2つの辺の長さをはかる。 ②2つの辺の長さを表す数をかける。		正方形の面積を求めることができる。 【観察・ノート】
5 本 時	◎既習の長方形や正方形の面積を求める学習を活用して、L字型の図形の面積の求め方を考え、説明することができる。 ㊦ どのようにすればL字型の形の面積を求めることができるでしょうか。 ㊧ L字型のような形の面積も、長方形	・L字型の図形を構成する長方形に着目し、面積の求め方を考える	[思・判・表] L字型の図形がいくつかの長方形で構成されていることに着目するなど、面積の求め方を考え、説明している。 【観察・ノート】
6	○面積の単位「平方メートル( $m^2$ )」を知り、辺の長さがmの場合も、長方形や正方形の面積の公式が適用できることを理解する。 ㊦ 大きな面積の表し方を考えよう。 ㊧ 1辺が1mの正方形の面積を1平方メートルといい、 $1m^2$ と書く。	・基にする広さに着目して、大きな面積の表し方を考える	[思・判・表] 基にする広さに着目して、大きな面積の表し方を考え、説明している。 【観察・ノート】
7	○mとcmの関係を基に面積の単位 $m^2$ と $cm^2$ の関係を考え、説明することができる。 ㊦ $cm^2$ と $m^2$ との関係を考えよう。 ㊧ $1m=100cm$ だから、 $1m^2=10000cm^2$	・ $1m=100cm$ であることに着目し、 $1m^2=10000cm^2$ であることを考える	[思・判・表] $1m=100cm$ であることに着目して、 $1m^2=10000cm^2$ であることを考え、説明している。 【観察・ノート】
8	○面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル( $km^2$ )」を知り、面積の単位の相互関係を理解する。 ㊦ 大きな面積の表し方を調べよう。 ㊧ 基にする広さの正方形の1辺を1mから10m、10mから100mと変えて新し単位ができています。	・面積の単位「アール」「ヘクタール」「平方キロメートル」	[知・技] 辺の長さの単位が揃っていない長方形の面積を $m^2$ や $cm^2$ で表すことができる。 【観察・ノート】
9	○面積の単位「アール(a)」「ヘクタール(ha)」「平方キロメートル( $km^2$ )」を知り、面積の単位の相互関係を理解する。 ㊦ さらに大きな面積の表し方を考えよう。 ㊧ 県や町などの広いところの面積を表すには、1辺が1kmの正方形の面積を単位にする。	・正方形の1辺の長さに着目し、単位の相互関係を考える	[思・判・表] 正方形の1辺の長さに着目して、 $1cm^2$ 、 $100cm^2$ 、 $1m^2$ 、 $1a$ 、 $1ha$ 、 $1km^2$ の単位の相互関係を考え、説明している。 【観察・ノート】
10	○長方形の周りの長ささと面積の関係を、表やグラフを基に考え、説明することができる。 ㊦ 調べ方を考えよう。 ㊧ 折れ線グラフにすると、変わり方がわかりやすい。	・表や折れ線グラフに着目して、縦の長ささと面積の関係を考える。	[思・判・表] 表や折れ線グラフに着目して、縦の長ささと面積の関係を考え、説明している。 【観察・ノート】
11	○学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 ㊦ 学習の仕上げをしよう。 ㊧ 必要な学習内容を確認できる。	・学習内容の習熟・定着	[知・技] 基本的な問題を解決することができる。 【観察・ノート】

第6学年(全5時間)

	○主な学習活動 課題:㊦ まとめ:㊧	学習内容	主な評価規準
1	○身の回りにあるものの形について、その概形	・図形の構成要素や性質	[態]

	をとらえることで面積を求められることを理解する。 ④ およその面積の求め方を考えよう。 ⑤ およその面積と実際面積は、ほとんど等しい。	に着目し、身の回りのものの形についてその概形をとらえ、およその面積の求め方を考える。	身の回りにあるものの形の概要をとらえて、面積を求めようとしている。  【観察・ノート】
2 本 時	◎身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることで面積を求められることを理解する。 ④ およその面積の求め方をまとめよう。 ⑤ 身の回りの色々なものも、面積の求め方がわかっている図形をみると、およその面積を求めることができる。	・身の回りのもののおよその面積を求める。	[知・技] 身の回りにあるものの形について、その概要をとらえることで、およその面積を求められることを理解し、面積を求めることができる。  【観察・ノート】
3	○身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることで容積や体積を求められることを理解する。 ④ およその面積の求め方を考えよう。 ⑤ 身の回りの色々なものも、体積の求め方がわかっている図形をみると、およその体積を求めることができる。	・図形の構成要素や性質に着目し、身の回りのものの形についてその概形をとらえ、およその容積や体積の求め方を考える。	[思・判・表] 身の回りにあるものの形の概形をとらえて、およその容積や体積の求め方を考えている。  【観察・ノート】
4	○単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 ④ 学習の仕上げをしよう。 ⑤ 必要な学習内容を確認できる。	・学習内容の生活への活用	[思・判・表] 学習内容を生活に生かそうとしている。  【観察・ノート】
5	○学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 ④ およその面積の求め方を考えよう。 ⑤ 身の回りにあるものの形や図形をみて考えると、およその面積や体積を求めることができる。	・数学的な見方・考え方の振り返り	[思・判・表] 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。  【観察・ノート】

## 5 本時の学習

### (1) 共通目標

- ① 形や図形について関心を持ち、形や図形の問題に取り組むことができる。
- ② 個々に設定された時間の中で、集中して取り組むことができる。

### (2) 児童の実態と個人目標

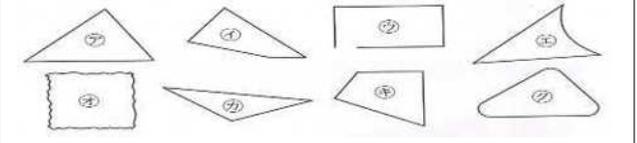
- A 児・図形の特徴をとらえて、課題解決に取り組むことができる。
- B 児・掲示コーナーを活用したり、友達と相談したりして学習に取り組むことができる。
- C 児・具体物があると、意欲的に操作活動や学習に取り組む事ができる。
- D 児・既習事項をもとにして考えることができる。
- E 児・手立てをもとにして学習を進めることができる。
- F 児・気持ちにムラがあり、課題に取り組めない。操作活動によって、課題に取り組むことができる。

### 個人目標

- A ・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組むことができる。
- ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができる。

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組み、三角形や四角形の特徴を理解することができる。</li> <li>・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形の特徴を掲示コーナーを活用して見つけることができる。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と話し合いながら三角形や四角形の特徴について理解することができる。</li> <li>・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を友達と話し合いながら見つけることができる。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しをもって学習に取り組むことができる。</li> <li>・個別の課題解決の場面で、既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができる。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と一緒に問題に取り組むことができる。</li> <li>・個別の課題解決の場面で方眼紙の1cmのますの数を数えて面積を求めることができる。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指導の場面で、授業内容を知り、課題意識をもって取り組むことができる。</li> <li>・個別の課題解決の場面で、どの基本図形を使えば面積が求められるか考えておよその面積を求めることができる。</li> </ul>

(3) 学習過程

段階	学習活動 ◎学習内容	時間 (分)	教師の支援と評価(◎予想される児童の反応 ※指導の手だて) 本校の研究との関連[A~C]					
			A児	B児	C児	D児	E児	F児
め あ て	1 ウォーミングアップをする。 2 本時の問題と課題を捉える。	3  10	<p>※全児童が姿勢を正し、落ち着いて教師に目線を合わせてから挨拶を始めるようにする。                      ※休み時間からの切り替えを行うために、挨拶は正しく行うよう徹底する。                      ※ウォーミングアップでは、大型テレビを使って算数への学習の意欲づけを図る。【C】</p>					
			<p>問題 「㊶から㊸の中から、三角形や四角形を見つけよう」</p> 		<p>問題 「この形の面積をもとめよう」</p> 		<p>問題 「およその面積を求めよう」</p> 	
			<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる かわけもいっ しょに考えよ う</p>	<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる か考えよう</p>	<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる かヒントカー ドをつかって 考えよう</p>	<p>個の課題 どのようにす ればこの面積 をもとめられ るのか考えよ う</p>	<p>個の課題 どのようにす ればこの面積 をもとめられ るか方がん紙 をつかって考 えよう</p>	<p>個の課題 きほんの図形 をもとにすれ ば面積が求 められるか考 えよう</p>
			<p>※本時では、各学年での形・面積の問題に取り組むという課題を個別に設定する。【B】</p>					
			A児	B児	C児	D児	E児	F児
			目標 三角形や四角形 を直線の数や頂	目標 三角形や四角形 を掲示コーナーを	目標 三角形や四角形 を掲示コーナー	目標 既習の長方形や 正方形を基にし	目標 方眼紙の1cm <sup>2</sup> の ますの数を数えて	目標 どの基本図形を 使えば面積が求

見 通 し	3 課題解決に対する見通しをもつ。	<p>点などをもとにして見つけることができる。</p> <p>活用して見つけることができる。</p> <p>を活用したり、友達と話し合ったりして見つけることができる。</p>	<p>面積を求めることができる。</p> <p>面積を求めることができる。</p>	<p>められるか考えておよその面積を求めることができる。</p>	
		<p>見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線の数を数えてみる。</li> <li>・へんが直線かどうか確かめてみる。</li> </ul>	<p>見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線をひいてみる。</li> <li>・切ってみる。</li> </ul>	<p>見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・似ている形の図形をもとに考えてみる。</li> </ul>	
学 び 合 い	4 学年ごとのグループで課題解決に向けた学び合いを行う。	<p>◎急いで課題解決しようとし、勘違いすることがあるが、自分の力で取り組むことができる。</p> <p>◎聞いていることの意味が理解できれば、集中して取り組むことができる。</p> <p>◎自分の考えをもつことが苦手ではあるが、やり方が分かれば、積極的に発表し取り組むことができる。</p>	<p>◎自分の力で取り組みもうとするが、周りが気になり時間がかかることがある。</p> <p>◎手がかりがわかれば、集中して取り組むことができる。</p>	<p>◎問題に取り組もうとするが、できない問題だと思つと、あきらめてしまうことがある。</p>	
		<p>※慌てずに落ち着いて取り組むように促す。</p> <p>A 児</p>	<p>※必要に応じて、課題の意味と一緒に確認し、集中して取り組めるように支援する。</p> <p>B 児</p>	<p>※必要に応じて、掲示コーナーの活用を促す。</p> <p>C 児</p>	<p>※手が止まっているときには、掲示コーナーを活用するように促す。</p> <p>D 児</p>
		20	<p>・同じ学年の友達と一緒に問題解決に向けて話し合うことで、学び合いを深める。【A】</p> <p>・分からない時や困った時には、自力解決の手段(掲示物)を参照させて、解決を図る。【A】</p> <p>※大型ホワイトボードに貼ってある㊦～㊨の図形を用意しておき、操作しながら話し合えるようにしておく。</p>	<p>※自分の考えをホワイトボードに書いて、発表できるようにしておく。</p> <p>※掲示コーナーには、長方形に切り分けた図形などを貼って</p>	<p>※一人で課題解決が難しいようであれば、教師と一緒に考えな</p>
					

ま と め	5 課題に対するまとめをする。	<div data-bbox="689 635 1294 790" data-label="Text"> <p>まとめ 「へんやちょう点を見れば、三角形や四角形を見つけることができる」</p> </div>			<div data-bbox="1346 373 1727 496" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1346 592 1742 799" data-label="Text"> <p>まとめ 「長方形や正方形の形をもとにして考えればもとめることができる」</p> </div>		<div data-bbox="1783 544 1984 826" data-label="Text"> <p>まとめ 「基本の図形をもとにすると、およその面積を求めることができる」</p> </div>
		<p>※分かったことを教師がインタビュー形式で聞きながら、グループごとにまとめをする。まとめをワークシートに記入する。【B】</p>					
		A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	F 児

習熟習得	6 確認問題をする。	9	確認問題 「へんをかきたして、三角形や四角形をかこう」	確認問題 「いろいろな方法で面積をもとめよう」	確認問題 「道路ひょうしきのおよその面積を求めよう」 		
	7 振り返りを行う。 【ワークシート】 ○今日のかだい○ ○まとめ○ ○ふりかえり○	3	本時の評価 三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができた。	本時の評価 三角形や四角形の特徴を掲示コーナーを活用して見つけることができた。	本時の評価 三角形や四角形を友達と話し合いながら見つけることができた。	本時の評価 既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができた。	本時の評価 方眼紙の1cm <sup>2</sup> のますの数を数えて面積を求めることができた。
振り返り			※本時の評価問題に取り組ませ、教師が採点をする。理解不足の児童には個別指導をす				
			※本時の学びはどうだったかを書かせ、自分の学びの実感を高められるようにする。【B】				

6 評価

(1) 共通目標に係る評価

- ① 形や図形について関心を持ち、形や図形の問題に取り組むことができたか。
- ② 個々に設定された時間の中で、集中して取り組むことができたか。

(2) 個人目標に係る評価

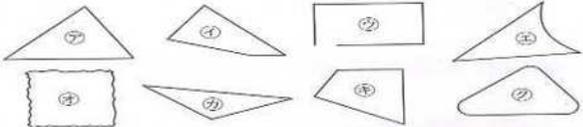
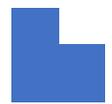
自己評価
A ・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができたか。
B ・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組み、三角形や四角形の特徴を理解することができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形の特徴を掲示コーナーを活用して見つけることができたか。
C ・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と話し合いながら三角形や四角形の特徴について理解することができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を友達と話し合いながら見つけることができたか。
D ・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しをもって学習に取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができたか。
E ・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と一緒に問題に取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で方眼紙の1cmのますの数を数えて面積を求めることができたか。
F ・一斉指導の場面で、授業内容を知り、課題意識をもって取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、どの基本図形を使えば面積が求められるか考えておよその面積を求めることができたか。

(3) 板書計画

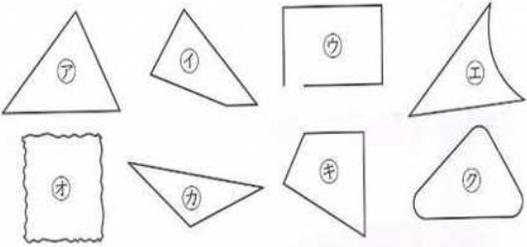
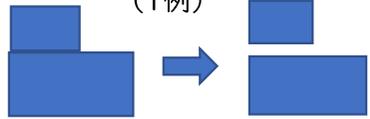
【本時の学び合いの意図】友達と関わり合い、自分の考えと相手の考えを比較、検討しながら課題に取り組む。

6年	2年	4年
<p>問題 「およその面積を求めよう」</p>	<p>問だい 「㊦から㊧の中から、三角形や四角形を見つけよう」</p>	<p>問題 「この形の面積をもとめよう」 </p>
<p>個の課題 きほんの図形をもとにすれば、面積が求められるか考えよう</p>	<p>かだい どこを見れば見つけられるかわけもいっしょに考えよう</p> <p>かだい どこを見れば見つけられるか考えよう</p> <p>かだい どこを見れば見つけられるかヒントカードをつかって考えよう</p>	<p>かだい どのようにすればこの面積をもとめられるのか考えよう</p> <p>かだい どのようにすればこの面積をもとめられるか方がん紙をつかって考えよう</p>
<p>見通し ・同じ大きさや形の図形をもとに考えてみる。</p>	<p>見とおし ・直線の数を数えてみる。 ・へんが直線かどうか確かめてみる。</p>	<p>見通し ・線をひいてみる。 ・切ってみる。</p>
<p>まとめ 「きほんの図形をもとにすれば、およその面積を求めることができる」</p>	<p>まとめ 「へんやちょう点を見れば、三角形や四角形を見つけることができる」</p>	<p>まとめ 「長方形や正方形の形をもとにして考えればもとめることができる」</p>

(3) 学習過程

段階	学習活動 ◎学習内容	時間 (分)	教師の支援と評価(◎予想される児童の反応 ※指導の手だて) 本校の研究との関連[A~C]							
			A児	B児	C児	D児	E児	F児		
め あ て	1 ウォーミングアップをする。	3	<p>※全児童が姿勢を正し、落ち着いて教師に目線を合わせてから挨拶を始めるようにする。                      ※休み時間からの切り替えを行うために、挨拶は正しく行うよう徹底する。                      ※ウォーミングアップでは、大型テレビを使って算数への学習の意欲づけを図る。【C】</p>							
	2 本時の問題と課題を捉える。	10	<p>問題 「㉗から㉘の中から、三角形や四角形を見つけよう」</p> 	<p>問題 「この形の面積をもとめよう」</p> 	<p>問題 「およその面積を求めよう」</p> 	<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる かわけもいっ しょに考えよ う</p>	<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる か考えよう</p>	<p>個の課題 どこを見れば 見つけられる かヒントカー ドをつかって 考えよう</p>	<p>個の課題 どのようにす ればこの面積 をもとめられ るのか考えよ う</p>	<p>個の課題 どのようにす ればこの面積 をもとめられ るか方がん紙 をつかって考 えよう</p>
			<p>※本時では、各学年での形・面積の問題に取り組むという課題を個別に設定する。【B】</p>							

見 通 し	3 課題解決に対する見通しをもつ。	A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	F 児
		<p>目標 三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができる。</p>	<p>目標 三角形や四角形を掲示コーナーを活用して見つけることができる。</p>	<p>目標 三角形や四角形を掲示コーナーを活用したり、友達と話し合ったりして見つけることができる。</p>	<p>目標 既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができる。</p>	<p>目標 方眼紙の1cm<sup>2</sup>のますの数を数えて面積を求めることができる。</p>	<p>目標 どの基本図形を使えば面積が求められるか考えておよその面積を求めることができる。</p>
		見通し ・直線の数を数えてみる。 ・へんが直線かどうか確かめてみる。			見通し ・線をひいてみる。 ・切ってみる。		見通し ・似ている形の図形をもとに考えてみる。
		◎急いで課題解決しようとし、勘違いすることがあるが、自分の力で取り組むことができる。	◎聞いていることの意味が理解できれば、集中して取り組むことができる。	◎自分の考えをもつことが苦手ではあるが、やり方が分かれば、積極的に発表し取り組むことができる。	◎自分の力で取り組もうとするが、周りが気になり時間がかかることがある。	◎手がかりがわかれば、集中して取り組むことができる。	◎問題に取り組もうとするが、できない問題だと思つくと、あきらめてしまうことがある。
		※慌てずに落ち着いて取り組むように促す。	※必要に応じて、課題の意味を一緒に確認し、集中して取り組めるように支援する。	※必要に応じて、掲示コーナーの活用を促す。	※手が止まっているときには、掲示コーナーを活用するように促す。	※方眼紙や掲示コーナーを手がかりにして取り組めるよう支援する。	※透明シートを渡し、最後まで集中して取り組めるように支援する。

			A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	F 児
学 び 合 い	4 学年ごとのグループで課題解決に向けた学び合いを行う。	20	<p>・同じ学年の友達と一緒に問題解決に向けて話し合うことで、学び合いを深める。【A】</p> <p>・分からない時や困った時には、自力解決の手段(掲示物)を参照させて、解決を図る。【A】</p>			<p>※自分の考えをホワイトボードに書いて、発表できるようにしておく。</p> <p>※掲示コーナーには、長方形に切り分けた図形などを貼っておく。</p>		<p>※一人で課題解決が難しいようであれば、教師と一緒に考えながら支援する。</p>
ま と め	5 課題に対するまとめをする。		<p>※大型ホワイトボードに貼ってある㊦～㊧の図形を用意しておき、操作しながら話し合えるようにしておく。</p> 			<p>(1例)</p> 		
			<p>まとめ 「へんやちょう点を見れば、三角形や四角形を見つけることができる」</p>			<p>まとめ 「長方形や正方形の形をもとにして考えればもとめることができる」</p>		<p>まとめ 「基本の図形をもとにすると、およその面積を求めることができる」</p>
			<p>※分かったことを教師がインタビュー形式で聞きながら、グループごとにまとめをする。まとめをワークシートに記入する。【B】</p>					

習熟 習得	6 確認問題をする。	9	A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	F 児
			<p>確認問題 「へんをかきたして、三角形や四角形をかこう」</p>			<p>確認問題 「いろいろな方法で面積をもとめよう」</p>		
振り 返り	7 振り返りを行う。 【ワークシート】 ○今日のかだい○  ○まとめ○  ○ふりかえり○	3	<p>※本時の評価問題に取り組ませ、教師が採点をする。理解不足の児童には個別指導をす</p>					
			<p>本時の評価 三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができた。</p>	<p>本時の評価 三角形や四角形の特徴を掲示コーナーを活用して見つけることができた。</p>	<p>本時の評価 三角形や四角形を友達と話し合いながら見つけることができた。</p>	<p>本時の評価 既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができた。</p>	<p>本時の評価 方眼紙の1cm<sup>2</sup>のますの数を数えて面積を求めることができた。</p>	<p>本時の評価 どの基本図形を使えば面積が求められるか考えておよその面積を求めることができた。</p>
			<p>※本時の学びはどうだったかを書かせ、自分の学びの実感を高められるようにする。【B】</p>					

## 6 評価

### (1) 共通目標に係る評価

- ① 形や図形について関心を持ち、形や図形の問題に取り組むことができたか。
- ② 個々に設定された時間の中で、集中して取り組むことができたか。

### (2) 個人目標に係る評価

自己評価	
A	・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を直線の数や頂点などをもとにして見つけることができたか。
B	・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しを持って取り組み、三角形や四角形の特徴を理解することができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形の特徴を掲示コーナーを活用して見つけることができたか。
C	・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と話し合いながら三角形や四角形の特徴について理解することができたか。 ・個別の課題解決の場面で、三角形や四角形を友達と話し合いながら見つけることができたか。
D	・一斉指導の場面で、授業内容を知り、見通しをもって学習に取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、既習の長方形や正方形を基にして面積を求めることができたか。
E	・一斉指導の場面で、見通しをもって取り組み、友達と一緒に問題に取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で方眼紙の $1\text{cm}^2$ のますの数を数えて面積を求めることができたか。
F	・一斉指導の場面で、授業内容を知り、課題意識をもって取り組むことができたか。 ・個別の課題解決の場面で、どの基本図形を使えば面積が求められるか考えておよその面積を求めることができたか。

(3) 板書計画

【本時の学び合いの意図】友達と関わり合い、自分の考えと相手の考えを比較、検討しながら課題に取り組む。

6年	2年	4年
<p>問題 「およその面積を求めよう」</p>	<p>問だい 「㊶から㊷の中から、三角形や四角形を見つけよう」</p>	<p>問題 「この形の面積をもとめよう」</p> 
<p>個の課題 きほんの図形をもとにすれば、面積が求められるか考えよう</p>	<p>かだい どこを見れば見つけられるかわけもいっしょに考えよう</p> <p>かだい どこを見れば見つけられるか考えよう</p> <p>かだい どこを見れば見つけられるかヒントカードをつかって考えよう</p>	<p>かだい どのようにすればこの面積をもとめられるのか考えよう</p> <p>かだい どのようにすればこの面積をもとめられるか方がん紙をつかって考えよう</p>
<p>見通し ・同じ大きさや形の図形をもとに考えてみる。</p>	<p>見とおし ・直線の数を数えてみる。 ・へんが直線かどうか確かめてみる。</p>	<p>見通し ・線をひいてみる。 ・切ってみる。</p>
<p>まとめ 「きほんの図形をもとにすれば、およその面積を求めることができる」</p>	<p>まとめ 「へんやちょう点を見れば、三角形や四角形を見つけることができる」</p>	<p>まとめ 「長方形や正方形の形をもとにして考えればもとめることができる」</p>